

令和6年度重点取組方針主要関連事業の取組状況について

(1) 「新たな時代の人づくり推進方針」に沿った取組の推進

- ①乳幼児期において自己肯定感や非認知能力等を育むため、保育者の専門性向上を図るための研修の実施や、幼児教育・保育施設への訪問支援等を行うとともに、多様性に配慮した遊具等の整備を促進するなど、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育・保育を充実

新 こどもまんなか保育体制強化事業 <こども政策課> 571,461千円

【事業内容】

保育士がこども主体の保育業務に注力できる体制を整備するため、保育士の独自加配及び保育補助者等の配置、マネジメント支援を実施

○保育士独自加配事業

配置基準を満たす職員を配置し、かつ3歳未満児クラスへの加配を要件に、施設の定員規模に応じた保育士の加配を支援

○保育課題克服！人員体制強化事業

- ・健康支援体制強化への支援
- ・医療的ケア児受入体制整備への支援
- ・子育てサポーターの配置への支援

○セミナー等実施事業

ICT活用の推進など業務改善に向けた啓発セミナー等の開催

【取組の現状】

保育士の加配や保育補助者・支援者の配置による人員体制の強化を図るとともに、ICTの活用等による業務改善を推進（今後、交付申請を受付予定）

新 乳幼児期からの読書活動応援事業 <地域連携教育推進課> 2,795千円

【事業内容】

乳幼児期における読書習慣を形成し、子どもたちの不読率を低減するため、県内の幼稚園・保育所等への図書環境整備や読み聞かせに対する意識醸成により、本に親しむ機会を創出

○「絵本の配達便」（絵本セットの貸出し）の実施

[対象] 幼稚園、保育所等

○読み聞かせ活性化のための研修会・セミナーの開催

○寄贈絵本を活用した読書環境の整備

【取組の現状】

○「絵本の配達便」の実施

- ・78の幼稚園・保育所等に読み聞かせに適した絵本セットを貸し出し、7月から順次配達

○「乳幼児期における読書習慣の定着に向けた研修会」を開催

- ・県内3会場で開催し、延べ50名の幼稚園教諭、保育士等が参加

○親子で楽しめる絵本を使ったワークショップセミナーを開催

○県民に対し、幼稚園・保育所等へ寄贈する絵本を広く募集し、マッチングを実施

【事業内容】

学校、地域、企業、団体など多様な主体と連携・協働し、最先端の知見や地域・民間の活力を活用しながら、新たな学びの場を創出する取組を推進

【取組の現状】

- 「ワークショップコレクション in やまぐち 2024」
 - ・11月9日（土）～10日（日）の2日間、山口県セミナーパークで開催予定
 - ・6月5日（水）～7月5日（金）の間、出展者募集を実施（約50コンテンツが応募）
 - ・幼児・児童および保護者を対象（R5年度実績：2日間で延べ4,000人）
- 「子ども向けワークショップファシリテーター研修会」
 - ・10月頃、ワークショップコレクション出展者、幼児教育・保育者関係者、教育関係者等を対象に開催予定
- 「こどものためのあそび×まなびカタログサイト@やまぐち」を運用中
 - ・県内企業や団体、個人等が行っている子ども向けのクリエイティブ体験活動の情報をとりまとめて情報発信中（登録数：33ワークショップ）

誰もが育ち・学び・遊べる幼児教育環境づくり推進事業 <学事文書課>

82, 368 千円

【事業内容】

障害の有無にかかわらず、誰もが等しく育ち・学び・遊べる幼児教育環境を整備するため、多様性に配慮した環境整備等を行う私立幼稚園等に対する支援

【取組の現状】

私立幼稚園等が実施する多様性に配慮した遊具等の整備及び改修に要する経費を支援

誰もが育ち・学び・遊べる保育環境づくり推進事業 <こども政策課>

48, 844 千円

【事業内容】

障害の有無にかかわらず、誰もが等しく育ち・学び・遊べる保育環境を整備するため、多様性に配慮した環境整備等を行う私立保育所等に対する支援

【取組の現状】

私立保育所等が実施する多様性に配慮した遊具等の整備及び改修に要する経費を支援

私立幼稚園預かりサポート推進事業 <学事文書課>

456, 140 千円

【事業内容】

「子どもを産み育てることへの不安や負担感」を解消するため、保護者や地域ニーズに弾力的に対応するとともに、預かり保育や障害のある幼児の受け入れを行っている私立幼稚園に対する支援

【取組の現状】

私立幼稚園に障害のある幼児の在園状況を把握し支援を実施

【事業内容】

幼児教育のセンターとしての役割を積極的に果たすため、私立幼稚園が実施する各種取組に対して助成することにより、地域における子育て支援を推進

- 幼児教育相談を実施
- 幼児教育講演会
- 未就園児の親子登園
- 小学校との連携に資する事業
- 「ふるさと山口」教育推進事業
- 家庭・地域における幼児教育の促進に資する事業

【取組の現状】

私立幼稚園に事業計画の提出を募り、教育の質の向上に向けた取組や地域における子育て支援の推進に関する取組の支援を実施

【事業内容】

私立幼稚園、私立中学・高校及び私立専修学校・各種学校の教職員の資質向上を図るため、山口県私立中学高等学校協会、公益財団法人山口県私立幼稚園協会及び一般社団法人山口県専修学校各種学校協会が実施する教職員研修事業への助成

【取組の現状】

上記3団体において、12回の研修を実施（受講者数350名）

やまぐち未来アカデミア事業

【事業内容】

幼児・児童を対象に、生命や自然を大切に作る心や好奇心、探究心や創造力を高めるための体験プログラム等を山口県セミナーパークにおいて実施

- やまぐちキッズスクール
 - 【日 程】5月25日（土） AFPY 体験・野菜の収穫体験
 - 7月 6日（土） 遊んで壊そう、壊して遊ぼう
 - 9月 7日（土） 廃木材で秘密基地づくり

【対象者】4才～小学3年生及びその保護者 20組

- やまぐちキッズスクール ミニ！
 - 【日 程】10月下旬予定 農園教室
 - 【対象者】幼児・小学生及びその家族 25組

○ワークショップコレクション in やまぐち 2024（再掲2頁）

【取組の現状】

やまぐちキッズスクールは、第1回及び第2回を実施（延べ47名、31組の家族が参加）

【事業内容】

子育て家庭のニーズに応じた、地域の子育て支援を推進するため、市町が地域のニーズを踏まえて作成した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき実施する子育て支援のための事業等に対する支援

- 延長保育事業（早朝、夕方の保育）
- 多様な事業者の参入促進・能力開発事業（良質かつ適切な教育・保育等の提供体制を確保するため、認定こども園における特別支援教育・保育等への支援を実施）
- 一時預かり事業（保育所、幼稚園）
- 利用者支援事業（保護者等への相談支援等）
- 地域子育て支援拠点事業（保育所等での子育て中の親子交流等）
- 乳児家庭全戸訪問事業（生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭への訪問・相談支援等を実施）
- 養育支援訪問事業（養育支援が特に必要な家庭への訪問・相談支援等を実施）
- 子育て援助活動支援事業（地域における育児の相互援助活動を実施）

【取組の現状】

市町が実施する延長保育事業等に要する経費を支援（今後、交付申請を受付予定）

保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課>

18, 224 千円

【事業内容】

保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修等の実施により安定的な保育人材の育成・確保を推進

- 保育所職員研修
- 子育て支援員研修
- 認可外保育施設職員等研修

【取組の現状】

7分野（食育・アレルギー対応、保健衛生・安全対策、保護者支援・子育て支援、障害児保育、マネジメント、幼児教育、乳児保育）に係るキャリアアップ研修を開催予定

- 集合研修：6～11月 各分野2回実施 定員150名/回（マネジメントは100名/回）
- eラーニング：各分野定員150名

乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

26, 483 千円

【事業内容】

乳幼児期の教育及び保育のさらなる質の向上を図るために設置した「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」を拠点に、保育者等への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施

- 保育士・幼稚園教諭・保育教諭等に対する研修等
- 市町や幼児教育・保育施設に対する助言等
- 乳幼児期の教育及び保育に関する情報提供や普及啓発
- 乳幼児期の教育及び保育に関する調査研究

【取組の現状】

- 乳児保育研修（全2回：5月21日、10月18日）

- 特別な配慮を必要とする子どもの保育研修会（全3回：5月10日、7月3日、9月3日）
- リーダー研修（6月3日、1月7日）
- 山口県幼児教育・保育研究協議会（8月2日）
- ワークショップ型研修（8月31日）
- オンデマンド型保育者セミナー（8講座：オンライン 9月～10月）
- 幼稚園・特別支援学校（幼稚部）新規採用教員研修（1期～7期）
- 幼稚園新規採用教員研修に係る地区別研修会（8地区）
- 幼稚園・特別支援学校（幼稚部）中堅教諭等資質向上研修（1期～5期）
- 乳幼児の育ちと学び推進協議会（全2回：5月13日、11月18日）
- 専門分野に係る幼児教育アドバイザーの配置（16分野 19名）
- 次期幼児教育アドバイザーの育成を含めた「幼児教育プレアドバイザー」の配置（5名）

幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課>

1,161千円

【事業内容】

幼稚園教諭の資質能力の向上及び幼児教育の質の向上を図るため、幼稚園教諭免許状認定に係る講習を開催

【取組の現状】

幼稚園教諭二種免許状所有者が、一種免許状を取得するための幼稚園教諭免許法認定講習を開催し、希望聴講を含め延べ71名が受講予定

幼児教育充実事業 <義務教育課>

5,412千円

【事業内容】

質の高い幼児教育・保育の提供や保幼小連携の推進を図るため、乳幼児の育ちや学び、義務教育への円滑な接続等についての調査研究を実施

【取組の現状】

- 乳幼児期に育まれた資質・能力を踏まえて、小学校教育が円滑に行われるよう、保幼小連携に係る小学校教諭との合同研修会、市町保幼小連携担当者研修会の開催等により、連携を推進
- 山口県架け橋期のカリキュラム開発会議（全3回：5月22日、8月21日、2月は未定）
- 保幼小連携研修会（全3回：6月26日、11月19日、1月30日）
- 市町保幼小連携担当者研修会（全2回：5月16日、2月4日）
- 令和4年度に作成した保幼小連携に関するリーフレット「はじめのいっぽ」をもとにした、本県の保幼小連携推進における取組の指針となる事例集を作成し、資料を活用した好事例や取組の検証を実施する予定

【課題及び今後の対応】

- 園内研修の充実及び幼児教育・保育施設の課題等に向けた助言や要請に応じた訪問を行うことで、さらなる支援体制の強化をめざす必要がある。
- 保育士の加配等による人員体制の強化を図るとともに、乳幼児の育ちと学び支援センターと山口県立大学の子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所の連携等により保育人材に対する研修の充実に取り組み、保育の質のさらなる向上を図る必要がある。
- 保育者と子どもたち双方のウェルビーイングを向上させる取組を推進し、幼児教育・保育のさらなる質の向上につなげていく必要がある。
- 各私立幼稚園、保育所において特色ある幼児教育を実施していけるよう、支援を行っていく必要がある。
- 幼児の非認知能力や自己肯定感の向上に資するように、ワークショップや体験プログラムの内容充実及び提供者のファシリテーション能力の向上が必要であるため、新たな時代の人づくりアドバイザーを活用し、さらなる質の向上等を図るとともに、民間団体等の自主的・主体的な取組を推進する必要がある。
- めざす資質・能力や研修のねらい、研修対象や内容等を明記し研修を見える化したこと及び実施方法の工夫が、研修機会の拡大及び保育者のさらなる資質向上につながっている。講師の選定及び内容や振り返りの充実等、「学びの実感を伴う研修」の実施に取り組み、現場のニーズや今日的課題に対応した研修の一層の充実を図っていく必要がある。

②若者がふるさと山口への理解と愛着を深めることができるよう、地域資源等を教材としたプログラムを充実するとともに、人づくり推進ネットワークを活用した協働活動や民間団体等による自主的・主体的な取組を促進

☐ 新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

○遊びで培う創造力育成事業

- ・地域資源を活用した遊びを考えるワークショップの実施及び新たな遊びの情報発信

【日 程】令和6年7月6日(土)、10月5日(土)、令和7年1月11日(土)

【場 所】山口きらら博記念公園

【対象者】県内の小学4年生～中学生 20名程度

○明日にきらめけ！維新アカデミー事業

- ・県内の専門分野で活躍している講師と対話を通じたワークショップを実施

【日 程】令和6年6月30日(日)、7月13日(土)、8月10日(土)、10月12日(土)、
12月15日(日)

【場 所】山口県セミナーパーク

【対象者】県内の小学4年生～中学生 20名程度

【取組の現状】

○遊びで培う創造力育成事業は第1回に県内の小・中学生16名が参加

○明日にきらめけ！維新アカデミー事業は第1回～第3回に県内の小・中学生延べ35名が参加

再掲3頁

薩長土肥連携高校生ふるさと探究事業 <政策企画課>

1,410千円

【事業内容】

高校生(10名)を対象に、鹿児島県・高知県・佐賀県の高校生と交流しながら、郷土の歴史や先人たちの「志」を学び、ふるさとの魅力を見つめ直すプログラムを実施

【取組の現状】

本県から10名が山口県(山口市等)で行われるプログラムに参加予定

【日程】令和6年11月2日(土)~4日(月)

やまぐち未来アカデミア事業

(セミナーパーク指定管理事業) <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

○やまぐちまちづくりセミナー

中学生が様々なまちづくりの取組を知ることを通して、まちづくりに対する興味・関心を高め、身近な問題に向き合う視点や自分のまちへの愛着を育むプログラムを実施

○やまぐち「志」キャンプ

小・中学生を対象に、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を育成するため、自然体験施設や歴史・文化施設における様々な体験プログラムを実施

【取組の現状】

○やまぐちまちづくりセミナーは県内の中学生14名が参加

【日程】令和6年6月16日(日)

○やまぐち「志」キャンプは前期に県内の小学4年生~中学2年生45名が参加

【日程】前期 令和6年8月7日(水)~8日(木)1泊2日

後期 令和6年12月7日(土)

地域と連携したリアルな体験活動充実事業 <地域連携教育推進課> 6,716千円

【事業内容】

児童生徒の非認知能力を効果的に向上させるため、学校や地域、企業、団体等と連携したリアルな体験活動を通じて、多様な他者との協働的な学びを提供する地域連携教育のモデル事業を構築

○小・中学生対象の長期自然体験活動及び体験エコツアーを実施

○体験活動充実に資する指導者養成のための研修会を実施

【取組の現状】

○しまキャン

マリンアクティビティや環境保全活動を通じて、地域の自然について学ぶ自然体験プログラムを実施

【開催日】7月20日(土)~7月21日(日)(1泊2日)

【開催地】周防大島町地家室園地拠点施設周辺

【参加者】県内小学4~6年生及び中学生(計16名)

○やまぐちアドベンチャーキャンプ

世界的な冒険教育機関である OBS (Outward Bound School) の手法を取り入れ、野外活動とカウンセリングを組み合わせた長期自然体験活動を実施

【開催日】7月28日(日)～8月4日(日)(7泊8日)

※クマの目撃情報により、7月30日(火)で閉講

【開催地】十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域

【参加者】県内小学5・6年生及び中学生(計31名)

○山口県野外教育活動指導者研修会

野外活動とカウンセリングを組み合わせた OBS 手法を活用できる指導者の養成に向けた長期の自然体験研修を実施

【開催日】7月27日(土)～8月4日(日)(8泊9日)

※クマの目撃情報により、7月30日(火)で閉講

【開催地】十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域

【参加者】県内教員(計5名)

生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

7,547千円

【事業内容】

山口県の先人に関する学習機会の充実を図るため、先人学習コーナー(セミナーパーク内)及びウェブページによる先人紹介コンテンツの提供や関係書籍の整備等を実施

【取組の現状】

山口県セミナーパーク内の先人学習コーナーの管理・運営を行うとともに、Webページ「山口県の先人たちウェブサイト」を活用し、先人学習情報等を発信

【課題及び今後の対応】

- 子ども・若者の発達の段階に応じたふるさと学習プログラムとなるよう、地域資源や人材を活用し、さらなる内容の充実・質の向上を図る必要がある。
- リアルな体験活動のさらなる充実のため、地域での自走を見据え、中心となる学校や地域、企業、団体等の明確化と実現可能なプログラムの確立及び専門スキルを有した指導者の確保が必要である。
- 「学校・地域連携カリキュラム」の共有、実践、評価、改善を通じた地域のネットワークの強化により、地域と共に子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する取組を推進する必要がある。

- ③県内大学や企業等の連携・協働により、新たな価値を創造する力を育む教育プログラムを充実するとともに、国際交流を通じたグローバル人材の育成や、キャリアパスポートの活用等により主体的にキャリアを構築する力を育成する取組を推進

新 新たな時代の人づくりウェルビーイング向上事業 <政策企画課>

10,950千円

【事業内容】

ウェルビーイングの観点に着目し、「新たな時代の人づくり」に取り入れ、本県の将来を担う子ども

- も・若者たちの主体性や自己肯定感、多様性への理解等の育成・向上を促進
 - ウェルビーイングの理解促進・向上を図る講演会・ワークショップの開催
 - ウェルビーイングの観点に着目した人づくりの取組の情報発信
 - 小・中学生向けのワークショップの開催
 - 高校生・大学生等向けのワークショップの開催
 - 県内活動団体等の地域での取組の支援に向けたプログラムの作成等

【取組の現状】

- 「人づくり×ウェルビーイング」講演会の開催
 - 【日 時】令和6年8月18日（日）
 - 【場 所】防府市創業・交流センター
 - 【内 容】「ウェルビーイングの観点を取り入れたこれからの人づくり」をテーマとした講演及びトークセッション
 - 【対象者】県内の教育関係者、企業の経営者や人事担当者など 250名
- 乳幼児の育ちと学び支援センターと連携した保育者向けセミナーの開催
 - 【日 時】令和6年9月19日（木） オンライン
 - 【対象者】幼児教育・保育施設、児童養護施設の長・主任、小学校長及び教頭等
- 教育関係者、企業の経営者や人事担当者等向けのワークショップの実施
 - 【日 時】①令和6年11月23日（土）、②12月7日（土）、③令和7年1月25日（土）
 - 【場 所】山口県セミナーパーク
 - 【対象者】県内の教育関係者、企業の経営者や人事担当者等 30名
- 子ども・若者向けのワークショップの実施
 - 【日 時】①令和6年12月8日（日）、②令和7年1月26日（日）
 - 【場 所】山口県セミナーパーク
 - 【対象者】①高校生から大学生等 30名 ②小学生高学年から中学生 30名

拡 新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

（再掲）

再掲6頁

新 やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業 <高校教育課> 15,013千円

【事業内容】

海外留学に向けた機運の醸成や、海外に短期留学する高校生への留学経費支援を通して、世界に羽ばたく人材を育成するとともに、世界トップレベルの大学である米国スタンフォード大学と連携した取組により、英語による発信力の向上や国際感覚の涵養等を図り、将来の山口県を担うグローバル・リーダーを育成

- 短期留学プログラム
 - 短期留学プログラムを実施、留学経費の一部を補助
- 山口から世界へ GoGo プログラム
 - 留学フェアの開催、留学の成果発表、奨学金等の留学情報の提供
- スタンフォード e-Yamaguchi プログラム
 - 米国スタンフォード大学の講師による現代的な諸課題等についてのテーマ別講義・演習及び意見交換等

【取組の現状】

○短期留学プログラム

【留学期間】 令和6年7月22日（月）～8月5日（月）

【留 学 先】 オーストラリア キーンズランド州 ブリスベン

【人 数】 20名

【補 助 金】 6万円／人

○山口から世界へ GoGo プログラム（予定）

【実施時期】 令和6年9月14日（土）

【実施会場】 KDDI 維新ホール（メインホール）

【内 容】 講演、留学体験発表、奨学金等の留学情報の提供 等

○スタンフォード e-Yamaguchi プログラム

【実施時期】 令和6年9月28日（土）～令和7年3月22日（土）

※ 開講式：令和6年8月20日（火）

【実施形態】 オンラインによる遠隔授業

【テ ー マ】 “Leadership of a Sustainable Society” ～持続可能な社会の担い手として～

【講義内容】 「テクノロジーを通じた持続可能な地域社会の実現性」、「リーダーシップ論」等

【受 講 者】 30名

新 生成AIを活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業 <義務教育課>

10,872 千円

【事業内容】

子どもたちの「主体的に学習に取り組む姿勢」「思考力・判断力・表現力」を育成するため、生成AI・学習アシスタントアプリを活用し、家庭や学校での個に応じた学びを支援

○家庭学習における生成AIアプリ導入に向けた実証

○やまぐちっ子家庭学習推進協議会の開催

○教員への生成AI活用スタートアップ研修の実施

【取組の現状】

令和6年6月に県内7中学校（モデル校）にアプリ「スタディポケット」を導入し、実証を開始した。家庭学習及び授業での活用が進んでいる。

○やまぐちっ子家庭学習推進協議会第1回を実施

○教員への研修「ICT利活用に関する研修会」第1回及び第2回を実施

新 地域の見守りにDXを！デジタル安全マップ構築事業<学校安全・体育課>

6,088 千円

【事業内容】

子どもたちが作成する安全マップをデジタル化し、授業での効果的な活用や、情報の迅速な展開を行うことで、安全教育を一層推進するとともに、地域全体での見守り体制を強化

○「やまぐち子ども安全マップシステム」の導入により、システムを活用した安全教育・授業を展開し、デジタル化した安全マップを作成

○デジタル化した安全マップの活用による地域全体の見守り体制の強化

【取組の現状】

小中学校の授業等の場において、システムを活用したデジタル安全マップを作成（令和6年9月

以降予定)

新 DXハイスクール推進事業 <教育情報化推進室> R5補正：120,000千円

【事業内容】

高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する県立高校等のデジタル人材育成環境を整備

○専門人材の招へい

データ分析等の専門知識を有する人材を定期的に学校に招へいし、生徒へ充実した指導を提供

○大学、企業等への視察

生徒や教員が文部科学省指定の「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の拠点大学やデータ分析に係る企業等を視察し、ノウハウに直接触れる機会を創出

○教員のスキル向上

専門機関等に教員を派遣するなど、指導スキルや機器の使用スキルの向上を図るための研修を実施

○ICT機器等の整備

データ処理能力の高いパソコンや3DプリンタなどのICT機器等を導入し、授業や課外活動におけるデジタルに係る実験・実習を充実

【取組の現状】

○生徒が探究的な学びを推進するためのDXに関する知識や技術に触れる全校イベント（招へいた専門人材による講演や講座）の開催

○生徒や教員が大学を訪問し、データサイエンスに係る講義を受講

○高性能パソコン等のICT機器の整備

やまぐち未来アカデミア事業

(セミナーパーク指定管理事業) <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

○やまぐち若者 MY PROJECT

高校生を対象に、県内大学生・若手社会人をメンターとして、課題解決に向けたワークショップを実施するとともに、定期的にメンターとオンラインゼミを行いながらプランを深めるプロジェクトを実施し、全高校生を対象とした探究活動発表会（やまぐち探究サミット）を開催

○ワークショップコレクション in やまぐち2024の開催（再掲2頁）

【取組の現状】

○やまぐち若者 MY PROJECT

【スタートアップキャンプ】

- ・令和6年8月4日（日） 場所：山口県セミナーパーク
- ・県内高校14校、20プロジェクトが参加

【プロジェクト実践】令和6年8月～

それぞれの地域で大人や学校を巻き込みながらプロジェクトを実践

【探究ゼミ】令和6年9月～11月 オンライン

プロジェクトに取り組む上で役に立つ知識や先輩の経験を月1回のオンラインゼミで学ぶとともに、必要に応じて社会人や大学生メンターにプロジェクトの相談を行う。

【やまぐち探究サミット】

- Day1 令和6年12月22日(日) オンライン
自らのプロジェクトを振り返り、アクションを通して見えた「学び」の言語化を行う。
- Day2 令和7年2月2日(日) 場所：山口県セミナーパーク
探究的な学びをしてきた参加者がプレゼンテーションを通してプロジェクト実践を振り返り、互いに学びあう。

2050 ゼロカーボン・チャレンジ推進事業 <環境政策課>

2,316 千円

【事業内容】

次世代を担う人材の育成

○山口大学グリーン社会推進研究会と連携した環境学習の実施

○次世代リーダーの育成を目的としたワークショップ(相互交流)への参加

【取組の現状】

○山口大学グリーン社会推進研究会と連携した環境学習の実施

カーボンニュートラルへの理解と思考法・発想力を高めることを目的として、県内の小・中学生を対象とした環境学習(パブリック・ディベート大会)を実施

中学生大会

【開催日】7月28日(日)

【場 所】KDDI 維新ホール2階(山口市小郡)

【参加者】中学生71名

小学生大会

【開催日】12月8日(日)

【場 所】KDDI 維新ホール2階(山口市小郡)

【対象者】小学生

○次世代リーダーの育成を目的としたワークショップ(相互交流)への参加

次世代環境リーダー育成事業「アースバトン in 霧島～九州・山口の未来～」へ高校生を派遣予定

【開催日】9月21日～22日

【場 所】鹿児島県霧島市

【参加者】高校生7名

スタートアップ起業家育成事業 <経営金融課>

15,475 千円

※人づくり関連事業費のみ計上

【事業内容】

○起業家教育の支援

高等学校等が実施する起業家教育に係るカリキュラムの作成や授業運営を支援

【取組の現状】

○起業家教育支援実施校7校を決定

○各校の状況に応じた支援を実施

【事業内容】

専門高校とカーボンニュートラルに先進的に取り組む企業が連携し、学科の専門性に応じた研修や現場見学、現場実習等を実施

○Technology 関連企業との連携

- 高度で専門的な知識・技術への理解を深めるため、脱炭素化に関する先進的な技術を有する企業において、研修や企業見学等を実施
- 産業現場において、技術研修や現場実習を実施

○Life 関連企業との連携

- 専門分野を越えた幅広い知識・技術を身に付けるため、カーボンニュートラルに幅広く取り組む企業において、研修や企業見学等を実施
- 企業や他校・他学科と連携した教科横断的な取組を実施

【取組の現状】

○実施校（9校）を選定し、企業と連携した教育活動を実施

• Technology 関連企業との連携

実施校	大学科	研究テーマ	主な連携先
下松工業高校	工業	地産地消となる創エネルギーの研究	東洋鋼板㈱
徳山商工高校	工業	「周南コンビナート」の脱炭素化の現状と課題	出光興産㈱
小野田工業高校	工業	廃棄物処理等の環境改善技術に関する研究	長州産業㈱
萩商工高校	工業	教室における断熱効果の研究と地域への普及	㈱古田工務店
下関工科高校	工業	建築生産分野における脱炭素化について	㈱安成工務店

• Life 関連企業との連携

実施校	大学科	研究テーマ	主な連携先
大津緑洋高校	農業	地域の未利用資源を活用した牛の飼料開発	永山酒造
岩国商業高校	商業	流通業における脱炭素経営について	㈱リテールパートナーズ
厚狭高校	家庭	規格外野菜や廃棄食材の活用	㈱花の海 (有)田中醤油醸造場
田部高校	家庭	地域の資源（ジビエ等）を有効活用した商品・レシピ開発	静食品株式会社 ㈱秋川牧園

○実施校を対象とした「スタートアップ研修」を実施

○県内高校生を対象とした「脱炭素社会に係る認知度調査」を実施

生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

(再掲)

【事業内容】

生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」において、関係機関と連携し、各種講座やリカレント教育等に関する登録情報を充実

【取組の現状】

生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」を運用し、大学をはじめとする様々な団体が実施する講座等の情報を提供

東部地域グローバル人材育成事業 <高校教育課>

106,702 千円

【事業内容】

日常的に外国人と接することが多い地域特性を生かして、「地域に住む外国人や海外との交流を通じた地域活性化に関する教育活動」を実施することにより、地球規模・国際的（グローバル）な視点や経験を生かして、自分たちの地域（ローカル）社会に貢献する活動を行う「グローバル人材」を育成

- 県東部地域の県立高校生等を対象としたオンライン英会話、海外研修、国際交流体験等の通年プログラム

【取組の現状】

【参加者】 県東部地域の県立高校生等 162名

【内容】 オンライン英会話、グローバル探究（ハワイ研修）、国際交流体験、ローカル探究、グローバル・ラボ（ワークショップ等）の通年プログラム

データサイエンス活用推進事業 <産業人材課>

2,565 千円

【事業内容】

産学公連携によりデータサイエンスの活用を推進し、県内企業の技術力・研究開発力の強化を図るため、データサイエンティストを育成

- データサイエンティスト育成に係る専門カリキュラムの受講支援
- ビッグデータ解析等によるケーススタディを実施

【取組の現状】

- 山口大学の「データサイエンス講座（マスター講座）」の社会人受講者を募集 受講者13名のうち県内中小企業から受講推薦があった6名については、受講料を補助
- ビッグデータ解析等によるケーススタディの対象テーマを決定し実施予定

女性デジタル人材育成事業 <産業人材課>

29,090 千円

【事業内容】

県内企業や大学等と連携し、未就業の女性を対象に短期間で実務的なプログラミング講座を実施し、企業や女性のニーズに沿った人材育成、就業支援を実施

【取組の現状】

- 「やまぐち女性デジタル人材育成コンソーシアム」を設置し、参加企業を募集中
- プログラマー養成講座を開講中（9月上旬～1月下旬）

やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室>

198,204 千円

【事業内容】

- ICT活用に係るコンテストの開催
県内の小・中・高校生のICT利活用の促進や活用スキル向上を図るため、コンテストを開催
 - ・授業等でのICT活用事例のプレゼンやデジタルアート、プログラミング等の技術を競うコンテストの開催
 - ・コンテストに向けたアイデア創出や応募作品の洗練を行うワークショップの開催
 - ・小・中学生を対象としたプログラミングコンテスト及びプログラミング講座の開催
- AIイノベーター育成講座の開催

山口県の次代を担うA I人材を育成するため、高校生を対象としたA Iイノベーター育成講座を開催

- A I等の専門的な知識・技術を学ぶセミナーの開講
- 受講者同士がデータ分析精度を競うコンペティションの開催

【取組の現状】

○高校生ICT活用コンテスト

【デザイン思考ワークショップ開催日】8月3日、4日

【デザイン思考ワークショップ参加者人数】3校 10名

【応募期間】11月1日～12月15日

①学習コンテンツ ②DXチャレンジアイデア ③DXチャレンジプログラム

○U18 デジタルアートコンテスト（小・中・高校生が対象）

【応募期間】8月1日～10月6日

①イラスト ②マイクラ ③その他 ④plus(+)プレゼン

○ジュニアプログラマーコンテスト（小・中学生が対象）

【Scratch ワークショップ開催日】7月29日、8月9日、19日

（第4回を11～12月頃に予定）

【Scratch ワークショップ参加者人数】71名

【応募期間】8月1日～9月30日

①ブロックプログラム ②一般プログラム（ブロック型以外）

○高校生A Iイノベーター育成講座

- 基礎講座：高校生13名受講

開講式及び第1回ハンズオンセミナーを、KDDI 維新ホールで開催（7月21日）

オンデマンド配信講座に加えて、全5回のハンズオンセミナーを実施予定、ハンズオンセミナー内でコンペティションを開催

- ステップアップ講座：高校生4名

オンデマンド配信講座に加えて、全3回のハンズオンセミナーを実施予定、ハンズオンセミナー内でコンペティションを開催

【課題及び今後の対応】

○世界に向けた広い視野と地域の身近な問題に目を向ける視点の両方を持つ人材を育成するため、海外との交流を行う学校を拡充させるとともに、オンラインの国際交流プログラム等を通じて世界の先端的な知見に基づく講義を実施するなど、交流内容を充実させる必要がある。

○課題解決力や行動力を育成するため、人づくり推進ネットワーク等を活用して企業等との連携を強化する必要がある。

○子どもたちが将来に夢や目標を抱き、具体的な将来のイメージが持てるよう、地域の大人や先輩の生き方や考え方、多様な職業に触れる体験的な機会を充実し、自らキャリアを構築する力を育成する必要がある。

○企業においてA I等未来技術の導入・利活用等が円滑に進むよう、企業ニーズを踏まえた人材育成支援に取り組む必要がある。

○県内企業における生産性の向上や既存ビジネスの変革等を促進するため、経営者や求職者、就業者等に対してDX・IT分野に係る研修・訓練等を実施する必要がある。

④障害がある者となない者が共に学ぶインクルーシブ教育システムや、特別な支援を必要とする幼児・児童生徒へのきめ細かな対応等を充実し、障害の程度や家庭の環境などにかかわらず、誰もが学びへの意欲を高め、等しくチャレンジできる環境を整備

新 こどもの発達支援体制整備事業 <障害者支援課>

12,000 千円

【事業内容】

子どもの発達が「気になる段階」から適切な支援を行うことができるよう、県内各圏域に設置されている児童発達支援センターを中心とした、地域の障害のある子どもや発達の気になる子どもへの支援体制を整備

○児童発達支援センターの専門性に基づく支援の実施

【取組の現状】

主に各圏域の児童発達支援センターを中心とする施設において、発達が気になる子どもや家族への相談等支援を行うとともに、地域の保育所や障害児通所支援事業所等職員に対する助言・指導等を実施。

○実施施設数 11箇所

○子どもと家族等への相談支援等実施件数 (今後調査)

○地域の保育所・障害児通所支援事業所等職員に対する助言・指導等実施件数 (今後調査)

新 こどもまんなか保育体制強化事業 <こども政策課>

(再掲)

【事業内容】

保育所等の利用を希望する医療的ケア児の受入れが可能となるよう、医療的ケア児の受入れに必要な体制整備に係る経費を支援

○医療的ケア児の保育所受入に係る看護師配置等

【取組の現状】

医療的ケア児の受入れを行っている保育所等において必要な看護師の配置に要する経費等を支援 (今後、交付申請を受付予定)

新 社会的養護のこども権利擁護環境整備事業 <こども家庭課> 10,000 千円

【事業内容】

社会的養護を必要とする子どもが施設入所等の措置や処遇等に関して意見を表明することを支援する体制を整備

○子どもの意見表明等相談窓口の設置

○意見表明等支援員の訪問等による意見表明の支援

○子どもの申し立てに基づき調査審議等を行う機関の整備

【取組の現状】

○意見表明等支援員を養成するための「子どもアドボカシー基礎講座」の開催

○施設等における意見表明等支援員の受入に向けて関係機関と調整し、了解が得られた施設等から順次実施

新 社会的養護経験者等自立サポート事業 <こども家庭課>

8,000 千円

【事業内容】

社会的養護経験者等の孤立を防ぎ、適切な支援につなげるための自立支援拠点の整備

- コーディネーターによる生活や就労等に関する相談支援
- 社会的養護経験者等の相互交流の場の提供
- 一時的に滞在できる居場所の提供

【取組の現状】

- 社会的養護経験者等自立支援拠点『DaBeRi 場 in 「つむぎ」』を開設（R6.4月）
- 社会的養護経験者等に対し、生活、就労等に関する情報提供や相談支援、関係機関との連絡調整、一時避難的かつ短期間の受け入れ先の確保等を実施

新 地域こどもの居場所づくり体制強化事業 <こども家庭課>

37,331 千円

【事業内容】

全ての子どもが、安心・安全に過ごすことができる多くの居場所で、様々な学びや多様な体験活動に接しながら成長し、主体性や想像力を十分に発揮して社会で活躍できるよう、「こども食堂」など、こどもの居場所づくりに向けた市町の取組を支援

- 市町等への体制整備に向けたコーディネーターの配置
- 市町が実施するこどもの居場所づくりへの支援
- 市町との連携体制の整備

【取組の現状】

こどもの居場所づくりの開設・運営相談窓口となるコーディネーターを配置するとともに、開設希望者・団体等を対象とした専門セミナーを開催

新 大学等受験料補助事業 <こども家庭課>

56,300 千円

【事業内容】

ひとり親家庭や低所得子育て世帯の子どもの進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料を補助

【取組の現状】

ひとり親世帯や低所得世帯の子どもの大学等の受験料を補助（上限 53 千円／人）

新 「心の健康観察」導入実証事業 <学校安全・体育課> R5補正：10,000 千円**【事業内容】**

いじめや不登校等の未然防止に向け、児童生徒の小さなSOSを早期に発見し、早期支援につなげるため、健康観察アプリの導入を推進

- 1人1台タブレット端末を活用した健康観察の導入に向けた実証事業の実施
 - ・モデル校において、健康観察アプリを用いた心の健康観察を実施
 - ・児童生徒の言動や教員の日常的な観察では分からない児童生徒の小さなSOSを早期に把握
 - ・教職員、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）等と把握した情報を共有し、チームで早期支援を行う体制を構築

【取組の現状】

モデル校7校において「心の健康観察アプリ」を導入し、約 2,000 人の生徒を対象に2学期以

新たな学びの場創出事業 <政策企画課>

(再掲)

【事業内容】

- 東京大学先端科学技術研究センター連携事業
 - ・子どもたちの個々に応じた学びに関する講演会を開催
 - ・地域資源を活かした身近なモノから学ぶ体験学習を実施
 - ・困難を抱えながら自ら課題発見・解決する力を育成するワークショップを開催

【取組の現状】

- 「新たな時代の人づくりLEARN講演会」の開催
 - 【日 時】令和6年6月1日(土)
 - 【場 所】山口大学
 - 【内 容】「忙しい時代の子育てや教育のあり方」をテーマとした講演及びトークセッション
 - 【参加者】子育てや子どもの個々に応じた新しい学びに興味のある方 136名
- 「LEARN in やまぐち」の開催(年2回開催 第2回は10月開催予定)
 - ・第1回『初めてのアルバイト体験』&『保護者向け相談会』
子どもプログラム
 - 【日 時】令和6年8月29日(木)
 - 【場 所】山口県防府市内(ニトリ防府店、アルク防府店、ルルサス防府)
 - 【対象者】小学1年生~中学3年生 20名
 - 保護者プログラム
 - 【日 時】令和6年8月29日(木)
 - 【場 所】ルルサス防府
 - 【内 容】日常の子育ての中で感じる「困りごと」を参加者同士で共有・相談し合う
 - 【対象者】子どもプログラム参加者の保護者
- 「夢・志ワークショップ」
 - 【日 時】令和6年12月21日(土)
 - 【対象者】中学生~高校生 15名程度
 - 【場 所】山口県セミナーパーク

誰もが育ち・学び・遊べる幼児教育環境づくり推進事業 <学事文書課> (再掲)

再掲2頁

誰もが育ち・学び・遊べる保育環境づくり推進事業 <こども政策課> (再掲)

再掲2頁

私立幼稚園預かりサポート推進事業 <学事文書課> (再掲)

再掲2頁

医療的ケア児支援センター運営事業 <障害者支援課> 5,527千円

【事業内容】

医療的ケア児及びその家族等に対する専門的な相談支援を行う地域の拠点として、医療的ケア児

支援センターを設置し、医療的ケア児及びその家族又は関係者からの相談に応じ、情報の提供又は助言その他の支援を行うとともに、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関等への情報の提供及び研修を実施

【取組の現状】

- 県東部及び西部の2箇所に設置した「山口県医療的ケア児支援センター」により、家族等からの相談対応及び関係機関等との連絡調整を実施
 - ・4～7月の相談支援実績：東西センター計11件
- 医療、福祉、教育等の圏域内関係機関の連携強化を図るため、岩国圏域医療的ケア児支援連携会議を開催予定（10～12月頃）
- 医療的ケア児等支援コーディネーター養成研修を11～12月に開催予定

難聴児支援推進事業 <障害者支援課>

5,378千円

【事業内容】

難聴児とその家族等に対し、乳幼児から切れ目なく、多様な状態像に応じた支援が行えるよう、総合的な支援体制を整備

- 難聴児支援地域協議会の設置
- 家族等支援業務
 - 保護者に対する相談や難聴児の通園先等への巡回支援を実施
- 難聴児支援従事者専門性向上研修の開催
- 補聴器購入費等の一部助成

【取組の現状】

- 医療、福祉、教育等の関係機関及び当事者で構成する「県難聴児支援地域協議会」を開催予定（1～3月頃）
- 家族への相談支援及び巡回支援を実施
 - ・4～6月の相談・巡回支援実績 22件
- 難聴児支援従事者専門性向上研修を開催予定（10～12月頃）
- 医療、福祉、教育等の関係機関及び当事者で構成する「県難聴児支援地域協議会」を開催予定（1～3月頃）

地域子ども・子育て支援事業 <こども政策課>

(再掲)

再掲4頁

教育ICT管理運営費 <教育情報化推進室>

95,264千円

【事業内容】

通学が困難な児童生徒や障害のある児童生徒に対して学びの機会を保障するため、自宅・病室等の学習者用端末と教室等にいる分身ロボットをネットワークで接続し、遠隔授業を実施

【取組の現状】

- 総合支援学校において、全児童生徒への1人1台タブレット端末や通常の端末操作が困難な児童生徒への入出力支援装置を活用した教育を実施
- 分身ロボットを用いて、訪問教育対象児童生徒や入院等で通学ができない生徒に対して、遠隔授業を実施

再掲4頁

インクルーシブ教育システム推進事業 <特別支援教育推進室> 13,487千円

【事業内容】

障害のある者と障害のない者がともに学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの充実に向けて、特別支援教育に係る体制整備を推進

- 外部専門家の活用による教育内容・指導等の充実
- 総合支援学校における医療的ケア実施体制の充実
- 就職支援コーディネーターの配置

【取組の現状】

- 企業等と連携し、将来の職業生活において求められるICT活用に係る知識・技能等を習得するための指導プログラム等の開発を行い、効果的な指導の在り方についての研究を実施
 - ・総合支援学校3校をモデル校に指定
 - ・ICT人材育成のための指導の在り方に関する調査研究の外部委員4名の委嘱（外部専門家3名、連携企業1名）
- 障害の重度・重複化、多様化に対応するための外部専門家（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）を招聘できる体制を整備
- 医療的ケアを必要とする児童生徒が校外学習に参加する機会を確保するため、看護師が同行して支援
- 市町教委と連携し、特別支援教育を担当する中堅教員の指導力向上に向けた研修会を開催（第1期：研修動画視聴 第2期：11月22日オンライン）
- 総合支援学校高等部生徒の卒業後の自立や社会参加を促進するため、就職支援コーディネーターを配置し、現場実習先の確保や就職支援を実施
 - ・県内4校に4名を配置（田布施総支、山口南総支、宇部総支、下関総支）
 - ・令和6年度（4～6月）就職支援コーディネーターの企業等への訪問回数計90回
- 管理職を含めたすべての教員が特別支援教育の専門性向上に取り組むため、研修プログラム等を作成・活用し、その有効性の検証を実施
 - ・「特別支援教育コアカリキュラム（試案）」を市町教育委員会の研修計画で活用
 - ・「教員のための学び方ガイド」を県内全小・中・高等学校、特別支援学校の教職員に配布
 - ・特別支援教育シニアアドバイザーを2名配置し、学校訪問による相談支援を実施
 - ・シニアアドバイザー訪問校を5校から18校に拡大
 - ・県内全ての公立小中学校校長に特別支援教育管理職研修会を実施

子育て支援のための私立高校生授業料等減免事業 <学事文書課> 75,160千円

【事業内容】

高校段階における子育て支援として、私学の多様な教育を選択し安心して学べる環境づくりを推進するため、経済的な理由で就学が困難な生徒等を対象として授業料等の減免を行う学校法人に対して助成

- 授業料等減免（私立高等学校（全日制）、私立高等専修学校（大学入学資格付与校）等
- 入学時納付金減免（私立高等学校（全日制））

【取組の現状】

私立高校生の授業料等の軽減事業に対する支援を実施

私立高校生等奨学給付金事業 <学事文書課>

195,904 千円

【事業内容】

全ての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給

【取組の現状】

低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給

やまぐち若者育成・県内定着促進事業 <政策企画課>

2,550 千円

【事業内容】

経済的な理由で修学が困難な学生が自らの「志」に基づいて、学びを追求できるよう支援を充実するとともに、県内で活躍する人材の確保を促進

- 奨学金返還の支援（R6 予算計上なし）
- 県内高校生等への制度活用に向けた広報

【取組の現状】

奨学金返還補助制度の周知

- 県内高校生等へのチラシやポスターの作成・配布
- 無料情報誌及び SNS を活用した情報発信
- ホームページや 1 人 1 台タブレット端末等を活用した情報発信

ヤングケアラー相談支援体制整備事業 <こども家庭課>

6,000 千円

【事業内容】

本来、大人が担うような家事や家族の世話などを日常的に行うヤングケアラーを早期に把握し、適切な支援につなげるため、相談窓口の整備や支援人材の育成等の取組を総合的に推進

【取組の現状】

- ヤングケアラーに関する相談をワンストップで受け付け、市町や福祉サービス提供事業者等の関係機関と連携して適切な支援につなげる「ヤングケアラー専門相談窓口」の運営
- 福祉・介護・医療・教育等の関係機関職員等に対して、「ヤングケアラー支援の実際を学ぶ研修会」を開催
 - ・オンデマンド研修（7月15日～8月14日）
 - ・対面研修（8月5日）
- ヤングケアラー・コーディネーターを講師として派遣し、ヤングケアラーに関して説明をするお届け講座を実施

県立高等学校再編に係る遠距離通学支援事業 <教育政策課>

18,976 千円

【事業内容】

県立高校の再編整備に伴い、遠距離通学が必要となった生徒が、経済的理由により高校進学を断念することのないように通学費を支援

【取組の現状】

再編整備（募集停止）した県立高校と同地域に居住し、遠距離通学を行うこととなった高校生等に対して、再編（募集停止）から5年間通学費を支援

国公立高校生奨学給付金事業 <教育政策課>
314,801 千円

【事業内容】

全ての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給

【取組の現状】

生活保護世帯・非課税世帯の高校生等に対して、授業料以外の教育費（教科書、教材、学用品、通学用品、教科外活動費、通信費など）に充てることができる奨学給付金を支給

中学校及び高校0年生からの教育相談事業 <学校安全・体育課> 34,038 千円

【事業内容】

中学・高校入学予定の全ての児童生徒等を対象に、入学前後での教育相談体制の強化を図り、いじめや不登校等の未然防止等を充実

- 入学前の心理教育テスト
- 生徒・保護者相談
- 出身学校との情報共有
- 対面教育相談、オンライン相談、チャット相談 等

【取組の現状】

心理教育テストと面談の実施について承諾を得られた児童生徒のうち、小学校6年生で7.5%、中学校1年生で3.7%、中学校3年生で2.0%、高校1年生で3.3%の支援が必要な児童生徒を把握し、継続した支援の実施

いじめ・不登校等対策強化事業 <学校安全・体育課>
179,869 千円

【事業内容】

生徒指導上の諸課題に実効的に対応するため、外部専門家の配置や関係機関との連携強化等による、生徒指導・教育相談体制を充実

【取組の現状】

早期解決に向けた、SNS等を活用した相談体制や1人1台タブレット端末等を活用したオンラインによる相談・カウンセリング体制の拡大・充実

私立高等学校等就学支援事業 <学事文書課>
29,821 千円

【事業内容】

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある私立高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、私立高校生等に対して授業料の一部を助成することにより、家庭の教育費負担を軽減

【取組の現状】

私立高校に再度入学し学び直す場合の授業料の一部を支給

【課題及び今後の対応】

- 依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、その未然防止・早期対応に向けた教職員の資質向上の取組や、不登校児童生徒の学ぶ機会、および子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組を推進する必要がある。
- 様々な家庭環境にある子どもたちを支援するため、引き続き、多様な学びや体験の場を提供し、地域における見守り機能を果たす子どもの居場所づくりの取組を推進する必要がある
- 経済的な理由や障害など、困難を抱える子どもたちの学ぶ力の育成や「志」に基づき学びを追求できるよう支援を充実する必要がある。
- 障害のある児童生徒等の自立と社会参加を見据え、整備したICT機器等も効果的に活用しながら、それぞれの学びの場における各教科等の学習や、コミュニティ・スクールを核とした学校間や地域との交流及び共同学習、実践的・体験的な学習活動の一層の充実が必要である。

⑤「第3期県立高校将来構想」に基づく中高一貫教育校の設置や探究科の拡充などの特色ある学校づくりや、「やまぐちスマートスクール構想」による児童生徒一人ひとりに合った学びの支援、私立学校における特色ある教育の推進、地域連携教育の再加速、「山口県立大学将来構想」に基づく学部再編や高大連携の推進など、地域や時代のニーズに対応した将来を見据えた教育環境づくりを推進

新 生成AIを活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業 <義務教育課> (再掲)

再掲 10 頁

新 地域の見守りにDXを！デジタル安全マップ構築事業<学校安全・体育課> (再掲)

再掲 10 頁

新 DXハイスクール推進事業 <教育情報化推進室> (再掲)

【事業内容】

高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の強化を図るため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する県立高校等のデジタル人材育成環境を整備

○専門人材の招へい

データ分析等のノウハウを有する大学等から専門知識が豊富な人材を定期的に学校に招へいし、生徒へ充実した指導を提供

○大学、企業等への視察

生徒や教員が文部科学省指定の「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の拠点大学やデータ分析に係る企業等を視察し、ノウハウに直接触れる機会を創出

○教員のスキル向上

専門機関等に教員を派遣するなど、指導スキルや機器の使用スキルの向上を図るための研修を実施

○ICT機器等の整備

データ処理能力の高いパソコンや3DプリンタなどのICT機器等を導入し、授業や課外活動におけるデジタルに係る実験・実習を充実

【取組の現状】

- 生徒が探究的な学びを推進するためのDXに関する知識や技術に触れる全校イベント（招へいた専門人材による講演や講座）の開催
- 生徒や教員が大学を訪問し、データサイエンスに係る講義を受講
- 高性能パソコン等のICT機器の整備

新 山口県公立学校情報機器整備基金積立金 <教育情報化推進室>

R5補正：816,644千円

【事業内容】

義務教育段階における1人1台タブレット端末等の更新を計画的に進めるため、国の補助金を原資に基金を造成

【取組の現状】

- 令和6年3月29日付けで基金を造成
- 端末の共同調達に関する協議・情報交換等を行う、県教委と市町教委で構成する「山口県教育ICT推進協議会」の定期的な開催
- 端末のメーカー等が県教委や市町教委に対し自社の端末について紹介する展示会の開催

新 やまぐち高大パートナーシップ強化事業 <高校教育課>

3,663千円

【事業内容】

若者の県内定着を促進するために、高校と県内大学との連携を一層強めることにより、高校における課題解決型学習を推進しながら、県内大学の学部・学科等の具体的・実践的な理解につなげ、主体的な進路選択による県内大学への進学意識の向上を図る

【取組の現状】

- 高大パートナーシップ授業
 - ・県内大学の教員等が高等学校を定期的に訪問して授業を実施するとともに、高校生等が県内大学の研究施設等を訪問して実験等を行う取組
 - ・7校を実施校として決定
- 県内大学集合型オンライン授業
 - ・県内大学の教員等が、高校生等を対象に、県内大学の学部等における学問や研究について理解を深める授業をオンライン形式で開催
 - ・10月26日（土）12月21日（土）に開催予定
- 新たな学び創出コンペティション
 - ・大学での学びに必要な課題発見・解決能力の育成に向け、県内大学等と連携した内容及び研究成果について発表・協議する大会を開催
 - ・3月15日（土）に開催予定

私立専修学校運営費補助事業 <学事文書課>

3,449 千円

【事業内容】

私立専修学校に対して運営費を支援するとともに、企業等との連携体制を構築し、実務の最新知識・技能等が身につけられる実践的な職業教育に取り組む職業実践専門課程に認定された私立専門学校に対して経費を支援

- 私立専修学校に対する運営費補助
- 職業実践専門課程認定校に対する経費補助

【取組の現状】

私立専修学校の運営費及び職業実践専門課程認定校の経費の一部に対する支援を実施

やまぐち未来アカデミア事業

(セミナーパーク指定管理事業) <政策企画課>

(再掲)

再掲7頁

2050 ゼロカーボン・チャレンジ推進事業 <環境政策課>

(再掲)

再掲12頁

県立学校施設整備事業 (高校再編整備・教室不足対策)

<学校運営・施設整備室>

2,707,054 千円

【事業内容】

再編整備の対象となった新設高校において、より質の高い高校教育を提供できるよう、必要な施設・設備の整備を実施

児童生徒の増加に伴い教室不足が生じている総合支援学校において、教室不足を解消し教育環境の改善が図られるよう、必要な施設・設備の整備を実施

【取組の現状】

「県立高校再編整備計画 前期実施計画」に基づく県立高校の再編整備を推進するとともに、再編整備に伴う必要な施設整備に着手

日本語教育支援体制整備事業 <義務教育課>

27,511 千円

【事業内容】

日本語指導が必要な児童生徒が、日本の学校生活や社会生活について必要な知識等を集中的に身に付けることができるよう、遠隔・オンラインによる日本語指導等の充実を図るとともに、日本語指導者・支援員等による継続的な支援を行い、切れ目ない日本語教育を推進

【取組の現状】

- 各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等を補助するきめ細かな支援事業
- NPO 法人による、集中的・長期的な遠隔・オンライン日本語授業

やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業 <高校教育課>12,685千円

【事業内容】

高い志をもった高校生に、最先端の研究を踏まえた講義・演習や、ICTを活用して取り組むハイレベルな課外授業等を提供することにより、様々な変化に積極的に向き合いながら他者と協働して新たな価値を創造する力を育み、将来の山口県を担う人材を育成

○メディカル・フロントランナー育成コース

- ・地域医療探究セミナー 医学部教授、医師等による講義・演習
- ・先端研究体験プログラム 東大先端研と連携した体験プログラム

○アドバンスト・フロントランナー育成コース

- ・未来社会創造セミナー 有識者等による講義・演習
- ・オンライン プラス アウトリーチ 東大先端研によるオンライン講座、東大先端研訪問

○両コース共通

ドリカムゼミ 対面とオンラインを組み合わせたハイレベル課外授業

【取組の現状】

メディカル・フロントランナー育成コース55名、アドバンスト・フロントランナー育成コース34名の計89名（12校）の県立高校生が受講

○メディカル・フロントランナー育成コース

- ・地域医療探究セミナー
第1回 8月2日 山口大学医学部
第2回 11月10日 KDDI 維新ホール
第3回 12月25日 山口大学医学部
- ・先端研究体験プログラム
10月19日 セミナーパーク

○アドバンスト・フロントランナー育成コース

- ・未来社会創造セミナー
第1回 7月31日 KDDI 維新ホール（参加者31名）
第2回 12月26日 KDDI 維新ホール
- ・オンライン プラス アウトリーチ
8月19日から8月21日 東京大学先端科学技術研究センター等

○両コース共通

- ・ドリカムゼミ
第1回 8月5日 KDDI 維新ホール
第2回 10月12日 北九州予備校山口校
第3回 11月16日 オンライン
第4回 12月7日 オンライン

次世代の教育環境デジタル化推進事業 <教育情報化推進室> 261,676千円

【事業内容】

クラウドサービスを活用した校務のデジタル化による業務の効率化を図り、教員の働き方改革を一層推進するとともに、教育データを活用して児童生徒一人ひとりに合った学びを支援する取組を推進

○フルクラウド環境の構築及び校務系・学習系ネットワークの統合

○市町立学校及び県立学校の統合型校務支援システム間のデータ連携

○教育ダッシュボードを構築し、児童生徒の主体的な学びの支援や誰一人取り残されない学びの実現に活用

○クラウド型採点システムの利用

【取組の現状】

○教育ダッシュボードの段階的な導入

○クラウド型採点システムの利用により、定期考査等の採点時間の短縮による教員の働き方改革を推進

やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室> (再掲)

【事業内容】

地域や学校ごとの端末利活用状況の差をなくし、全ての子どもたちの学びのDXの実現のため、県を中心とした広域連携による支援基盤の整備及び学校へのICT支援員の派遣を実施

○OGIGAスクール運営支援センターの県及び8市町等での共同設置

○県及び県内全市町教育委員会が参加する教育ICT推進協議会での議論・実践

○県立学校へのICT支援員の派遣

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用して教育活動の一層の充実を図るため、県立学校へICT支援員を派遣し、ICTの日常的な活用を支援

○授業等でのICT活用事例のプレゼンやデジタルアート、プログラミング等の技術を競うコンテストの開催

○AI等の専門的な知識・技術を学ぶセミナーの開講

【取組の現状】

○学校へのICT支援員の定期訪問並びに端末故障対応窓口機能を備えた「やまぐちOGIGAスクール運営支援センター」を県及び8市町等で共同設置

○県及び県内全市町教育委員会が参加する教育ICT推進協議会を活用した定期的な情報共有

○次代の山口県を担うデジタル人材に必要な資質能力を育成するため、高校生を対象としたAIイノベーター育成講座を開催

教育ICT管理運営費 <教育情報化推進室> (再掲)

【事業内容】

児童生徒にICTを活用した学びの機会を提供するため、ICT機器や学校及び家庭のネットワーク環境を整備

○タブレット端末の管理・修繕

○高速で安定したインターネット環境を整備

○各教科等の授業で効果的にICTを活用していくためデジタル教材を導入

○通学が困難な児童生徒や障害のある児童生徒に対して学びの機会を保障するため、自宅・病室等の学習者用端末と教室等にいる分身ロボットをネットワークで接続し、遠隔授業を実施

【取組の現状】

ICT機器の適切な管理やデジタル教材の充実、ICTを活用して、通学できない児童生徒に対する学習を保障

学びに向かうやまぐちっ子育成推進事業 <義務教育課>

7,332 千円

【事業内容】

個別の学力の定着状況等の蓄積（学びの履歴）や、採点・集計業務の効率化を進め、児童生徒の学力定着状況に応じた指導や授業の充実を図るため、山口県学力定着状況確認問題をCBT（Computer Based Testing：コンピュータを使用した調査）で実施

【取組の現状】

【実施日】10月11日～10月18日

【対象者・教科】県内公立小学校5年 国語、算数、理科 6年 国語、算数
県内公立中学校1年 国語、数学 2年 国語、数学、理科、英語

産業教育設備整備費 <学校運営・施設整備室>

101,994 千円

【事業内容】

県内産業を支える人材を育成するため、専門高校等に地域産業の特徴や県内企業のニーズを踏まえた実験・実習設備を整備

【取組の現状】

○年度末までに装置の調達・整備を完了予定

トータルステーション（徳山商工）、CAD/CAM システム（下松工業）、誘導電圧調整器（美祢青嶺）、シーケンス制御作業盤（萩商工）、小型モーター実習装置（南陽工業）、計量・計測用機器（小野田工業）ほか

企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト <高校教育課>

(再掲)

再掲13頁

地域連携教育再加速化事業 <地域連携教育推進課>

64,745 千円

【事業内容】

地域・社会との新たな協働体制を構築するとともに、子どもと大人の学び合いの場を創出し、人と人とのつながりや地域力を再構築することで、コロナ禍によって停滞した山口県の地域連携教育の再加速化を促進

- 地域連携教育再加速化サポートチームの設置
- やまぐち型社会連携教育の推進
- 総合支援学校コミュニティ・スクールの強化
- 子どもが地域の先生プロジェクトを実施
- 地域連携教育再加速フォーラムの開催

【取組の現状】

- 県内7エリアに地域連携教育再加速化サポートチームを設置（CS チーフ6人、CS サポーター26人、地域学校協働活動推進員300人）
- 社会との連携・協働による「総合的な探究の時間」の充実をめざす「やまぐち型社会連携教育推進事業」を19校の県立高等学校等で実施
- 子どもが主体となって、子どもも大人も学び合う活動を実施する「子どもが地域の先生プロジェクト」を県内7地区におけるモデル校で実施

○地域連携教育再加速フォーラムを令和7年1月25日に開催予定

地域教育力日本一推進事業 <地域連携教育推進課>

43,339千円

【事業内容】

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する本県ならではの地域連携教育の一層の充実に向けた取組を推進

- 地域連携教育推進協議会・プロジェクト部会の開催
- 地域連携教育に係る担当者を対象とした研修の開催
- 地域学校協働活動の充実に向けた取組
- 放課後子ども支援・地域未来塾支援・家庭教育支援を実施

【取組の現状】

- 各市町の地域連携に係る会議や研修機会の主体的開催を促進
- 活動推進の核となる人材が必要な知識・技能等を身に付ける「地域協育ネットコーディネーター養成講座」、「家庭教育アドバイザー養成講座」等の実施
- 中学校区における統括コーディネーター等に対して地域学校協働活動推進員の委嘱を促進
(R4.6:329人⇒R5.2:326人⇒R6.5:300人)
- 家庭教育支援チームの設置促進(R4.6:53チーム⇒R5.4:71チーム⇒R6.3:75チーム)

地域と連携したリアルな体験活動充実事業 <地域連携教育推進課> (再掲)

再掲7頁

大学等地域活性化人材育成推進事業 <学事文書課>

28,990千円

【事業内容】

県内で活躍する新たな時代の人づくりを推進するため、県内大学等が企業等と連携して行う地域や時代のニーズに沿った人材の育成の取組を支援

- 地域が求める人材の育成を推進するワーキンググループの設置やアドバイザーの配置
- データサイエンス教育の普及に向けた教材作成支援、新たな分野や手法による課題解決型学習実施の環境整備等
- 企業発見フェアや学生・企業の交流会等の高校生・大学生・企業等をつなげる取組の開催支援
- 県内進学ガイドブックや進学フェア等による県内大学等の魅力を高校生に発信する取組の実施

【取組の現状】

- データサイエンス教育の普及を図るため、県内大学等が自由に使用することのできるデータサイエンスの共通教育教材を掲載したカタログサイトを開設
- 自ら課題を発見し解決する能力を育成するため、山口県版PBL(課題解決型学習)を県内7大学等(56テーマ)で実施
- 学生に地域の魅力ある企業を紹介する「山口きらめき企業の魅力発見フェア(Jobフェア)」(12月7日、維新百年記念公園維新大晃アリーナ)を開催予定
- 学生に県内企業を深く知ってもらうため「ガクセイ社会科見学」、「分野特化型企业交流会」を開催予定
- 県内大学・専門学校・高等専門学校等の「オープンキャンスマップ」を中高生向けに発信

【事業内容】

山口県立大学に対して、施設の整備・改修のための所要額を交付することにより、県民の生活に身近な分野における学術研究機能・人材育成機能等を強化

【取組の現状】

老朽化が著しい大学施設の外壁打診検査、学生等の安全を確保するための防災設備の整備を実施予定

生涯学習推進体制整備事業 <地域連携教育推進課>

(再掲)

再掲8頁

【課題及び今後の対応】

- 整備した学校のICT環境を効果的に活用して教育活動を一層充実させるため、教員のICT活用指導力の向上やデジタルコンテンツの充実を図っていく必要がある。
- 「第3期県立高校将来構想」の方向性に沿った実施計画に基づく、中高一貫教育校や文理探究科の設置など特色ある学校づくりを推進し、より質の高い教育を提供する必要がある。
- 山口県立大学について、大学が担うべき人材育成・研究拠点機能のあり方等を取りまとめた「山口県立大学将来構想」に基づき、高大連携や地域・企業等との共創の場を充実するなど時代や社会の変化に対応した学校づくりを推進する必要がある。
- 環境分野における次世代を担う人材育成のため、引き続き、交流会の開催や学習機会の提供など、環境教育・環境学習の充実を図る必要がある。
- 最新のデジタル化対応産業教育装置の使用に必要なプログラミング技術の習得や企業等と連携した実習を推進する必要がある。
- 私立学校における特色ある教育を推進するため、私立学校の教育条件の維持・向上や環境整備を支援する必要がある。
- 学校・学科の特色や専門性を生かした高校ならではのコミュニティ・スクールの取組を一層推進するため全県的なコーディネート体制を一層充実する必要がある。
- 学校教育と社会教育の一体的な推進により、子どもたちの学びや育ちを家庭や地域・社会と横につなぐ取組と、義務教育段階で育んだ子どもたちの資質・能力を高校等と縦につなぐ「校種間連携」の2つの取組の充実を図っていく必要がある。
- 県民が主体的に学習に取り組むことにより、社会の中で充実した生活を送ることができるよう、引き続き、生涯学習情報や学習機会の提供など、生涯学び続けることができる環境づくりを推進する必要がある。
- 県立博物館や山口図書館等における、デジタル技術を活用した展示物や電子図書館サービスのさらなる充実により、文化資源の鑑賞機会や読書や学習等の機会の拡大を図る必要がある。

⑥教職員の資質能力の向上や、新たな学びの視点を取り入れた教育プログラムの普及、人づくり推進ネットワークを核とした全県的な人づくりの気運を高める取組を推進

新 幼稚園人材確保総合対策事業 <学事文書課>

72,080 千円

【事業内容】

幼稚園人材の安定的な確保と幼児教育の質のさらなる向上のため、私立幼稚園が実施する処遇改善や一種免許状の取得促進等を支援

- 私立幼稚園の教職員処遇改善にかかる支援
- 幼稚園人材修学資金貸付
- 一種免許状保有促進にかかる支援

【取組の現状】

- 私立幼稚園の教職員処遇改善にかかる支援
私立幼稚園が実施する教職員の処遇改善に対して支援を実施
- 幼稚園人材修学資金貸付
県内外の養成施設に在籍する学生を対象に、県内の幼稚園に就職を希望する学生に対して修学資金の貸付を実施
- 一種免許状保有促進にかかる支援
私立幼稚園等における一種免許状を取得している教員の配置について支援を実施

新 こどもまんなか保育体制強化事業 <こども政策課>

(再掲)

再掲1頁

新 保育の担い手全力サポート事業 <こども政策課>

134,423 千円

【事業内容】

県内の保育士養成施設の学生を対象とした返還免除のある無利子貸付事業に、新たに県外の保育士養成施設の学生を対象とし、保育の担い手の新規開拓を実施

- 県外向け保育士修学資金貸付
- 県内向け保育士修学資金貸付

【取組の現状】

県内外の養成施設に在籍する学生を対象に、県内の保育所等に就職を希望する学生に対して修学資金の貸付を実施

私学教職員研修補助金 <学事文書課>

(再掲)

再掲3頁

保育士確保総合対策事業 <こども政策課>

14,524 千円

【事業内容】

市町の「子ども・子育て支援事業計画」の実施に必要な保育士を確保し、保育の質・量の拡充に

よる保育サービスの充実を図るため、「人材確保（新卒・再就職）」の取組を総合的に推進

○新卒確保

- ・保育士養成校に対する就業促進支援
- ・保育職PRキャラバン隊派遣
- ・メルマガを活用した採用情報発信
- ・保育士就職ガイダンスの開催

○再就職支援

- ・再就職支援コーディネーター配置
- ・保育士試験合格者等に対する実技講習
- ・返還免除規定のある貸付（潜在保育士就職準備金・保育料）

○待遇改善

- ・認定こども園保育士資格取得支援
- ・返還免除規定のある貸付（子どもの預かり支援）

【取組の現状】

○「保育職PRキャラバン隊出前講座」

保育士を目指す高校生の増加を図るため、高校生を対象とした保育の仕事の魅力を紹介する出前講座を開催（実施希望校募集中）

○「2024年 福祉のしごと・保育のしごと 就職フェア」

- ・6月23日（日） 山口県総合保健会館で開催（約50事業所が参加）
- ・12月7日（土） 周南総合庁舎で開催予定

○「再就職支援コーディネーター配置」

潜在保育士の再就職を支援する再就職支援コーディネーターを福祉人材センターに配置し、ハローワークや市町と連携した出張相談会を開催（計35回）

保育人材スキルアップ支援事業 <こども政策課>

（再掲）

再掲4頁

乳幼児の育ちと学び支援事業 <義務教育課>

（再掲）

再掲4頁

幼児教育の質の向上推進事業 <義務教育課>

（再掲）

再掲5頁

やまぐちスマートスクール構想推進事業 <教育情報化推進室>

（再掲）

【事業内容】

県立学校のICT化が進む中、教員がICTを普段使いできるようにするため、国の基準に基づき、教員に対する各種支援や環境整備、校内研修等を行うICT支援員を学校へ配置するとともに、端末故障対応窓口機能を備えたGIGAスクール運営支援センターを設置

【取組の現状】

- 県立学校に週1回程度ICT支援員を派遣し、学校のICT化全般を支援
- 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」を設置し、端末の故障等への対応を実施

【事業内容】

教員志願者の著しい減少による教員不足の問題を解消していくため、教員採用試験の志願者増加等を図り、本県の人づくりを支える教員の確保を推進

- 教職の魅力PR動画等を活用し、県内外の教職志望者に向けた広報活動を実施
- 教職に就いていない教員免許保有者等に向けた教職入門セミナーを実施
- 全国に先駆けて、教員免許未取得者を対象とした特別選考を実施
- 特別選考合格者に対する教員免許取得のための費用補助を実施

【取組の現状】

- 山口県における教師の魅力発信に向けたPR動画を配信
教員をめざす上での基本的知識や仕事内容、仕事の魅力・やりがい等を紹介する9本のPR動画を配信
- 先生になるなら“やまぐち”で！セミナーの開催
これから教員をめざす方、教員免許状を所有しているものの教職未経験の方等を対象とした、臨時的任用教員や非常勤講師としての入職に向けた多様なセミナーを年間12回開催
- 教職チャレンジサポート特別選考の新設
教員採用試験において、教員免許未取得者が受験できる特別選考を実施し、合格者には、教員免許取得のための費用を補助（採用見込者数：5名 R6年度から補助開始）

教職員等研修事業 <教職員課>

【事業内容】

教職員のキャリアステージに応じた基本研修に加え、職能や課題に応じて資質能力の向上を図るマネジメント研修やキャリアアップ研修等を実施

- 「受講者が主体的に参加する探究型の研修」、「ICTを効果的に活用した研修」、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた研修」の3つを柱としたやまぐち総合教育支援センターの研修講座の工夫・改善
- 独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した「地域連携教育」、「ICT活用」、「生徒指導」、「学校危機管理」、「スクールリーダーシップ」、「組織マネジメント」、「教科『情報』」等の資質能力の向上に係る研修を実施

【取組の現状】

- やまぐち総合教育支援センターの研修講座において、「振り返りの充実」や「他者との対話の充実」を図ることにより受講者の主体的な参加を促進するとともに、ICTの効果的な活用やユニバーサルデザインの視点を取り入れた講座運営を実施
- 管理職研修等において、独立行政法人教職員支援機構（NITS）山口大学センターと連携した研修を実施

新 新たな時代の人づくりウェルビーイング向上事業 <政策企画課> （再掲）

【事業内容】

- 多様な主体による人づくり協働推進事業
 - ・多様な主体が連携・協働して行う新たな学びの場の創出に関する取組への支援
 - ・人づくり推進ネットワークによる人的支援

【取組の現状】

- 「新たな時代の人づくり協働推進事業補助金」対象事業の募集・決定
- 民間団体等が行う取組に対する支援 補助金10/10 上限50万円
- 人づくり推進ネットワーク会員への取組周知
- 補助対象事業10件(17件申請)

人づくりの推進体制の構築 <政策企画課>

129千円

【事業内容】

県内の様々な関係者が目指すべき人づくりの方向性や課題認識を共有し、人づくり推進方針に沿った取組を一体となって推進

- 新たな時代の人づくり推進ネットワークの運用
- 山口県新たな時代の人づくりアドバイザーの活用

【取組の現状】

- 新たな時代の人づくり推進ネットワーク会員数(R6.7月時点114団体)
- 新たな時代の人づくりの推進に当たり、様々な分野における専門的な見識や最新の知見、豊富な経験に基づく助言・協力を得るなど、アドバイザーの活用を予定

【課題及び今後の対応】

- 教員の継続的な確保や教職員一人ひとりの資質能力の向上と多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成のため、教員志望者拡大に向けた取組やキャリアステージ等に応じた計画的・継続的な研修の実施が必要である。
- 子どもたちのウェルビーイングを高める取組を県下の様々な学びの現場に広げ、定着させていくため、ウェルビーイングの観点に着目した人づくりの理解促進と様々な学びの場等における取組の支援を行っていく必要がある。
- 各私立学校における教職員の資質能力向上に向けた取組に対し、私学団体と連携し支援を行っていく必要がある。
- 今後、さらに必要となる保育人材の確保・定着の取組を推進するとともに、研修等による資質向上を図る必要がある。
- 人づくりの取組が全県的に拡大するように、引き続き、学校や企業、民間団体等と連携・協働して行う自主的・主体的な取組の推進が必要である。
- やまぐち総合教育支援センターにおいて、研修デザインに関する学びの場や研修実施者同士の情報交換の場を設定し、好事例の共有を図るとともに研修実施上の課題を洗い出し、研修講座の更なる充実を図る必要がある。
- 独立行政法人教職員支援機構(NITS)山口大学センター等と連携しながら、研修講座の一層の充実により、キャリアステージに応じた教職員の資質能力向上を図る必要がある。

(2) 若者の県内定着の促進

- ①若者の県内就職促進に向け、「大学リーグやまぐち」等と連携しながら、県内企業の魅力情報発信や、大学生・企業のニーズに沿った就業体験を実施するとともに、高校生等を対象とした就職支援を推進

新 若者との共創による県内企業魅力向上事業 <労働政策課> 84,700 千円

【事業内容】

魅力向上セミナーの実施や、企業における奨学金返還支援制度の創設促進により県内企業の魅力向上を支援するとともに、若者との共創により若者視点を取り入れた企業紹介イベントや、保護者向けイベントを実施し、県内企業が若者から選ばれる企業となり、持続的に人材を確保していけるよう支援。

【取組の現状】

- ・「YAMAGUCHEERS!!」キックオフイベント（7月24日）
- ・県内企業魅力向上セミナー「YAMAGUCHEERS!!実践ブランディング経営塾」
(下関：7月29日、山口：8月6日、周南：8月7日)
- ・学生向け企業紹介イベント（山口：10月26日予定、周南：11月9日予定、下関：12月予定）
- ・保護者向け県内企業説明会（開催日未定）
- ・奨学金返還支援制度創設奨励金の支給

新 明日のやまぐちを創る！高校生就職支援事業
<高校教育課・特別支援教育推進室> 58,780 千円

【事業内容】

「ガイダンスの充実」と「マッチングの促進」に重点を置き、関係部局等と連携しながら、1年時から生徒一人ひとりに寄り添った組織的できめ細かな就職支援を推進し、高校生の主体的な県内就職・県内定住を促進

【取組の現状】

○県内産業や山口県の魅力の理解促進、県内就職・県内定住に向けた意識の醸成

【各種セミナーの実施（7月末時点）】

- ・ものづくり産業魅力発見セミナー（3校）
- ・やまぐち魅力発見セミナー（6校1分校、8講座）
- ・やまぐち仕事探究セミナー（17校、延べ23回）

○生徒の適切な職業選択と県内中小企業とのマッチングを促進

【高校と地元企業による交流フェア（9月以降実施）】

- ・交流フェアの企画・渉外等を担当する産学連携コーディネーターの配置（2名）

【就職支援を担う人材等の配置】

- ・キャリアデザインから個別の就職相談・マッチングまでを総合的に支援
キャリアデザインサポーター（19名）、キャリアデザインサポートリーダー（3名）
- ・総合支援学校に在籍する生徒の現場実習先の開拓、就職支援
総合支援学校就職支援コーディネーター（4名）

【教員等と企業の採用担当者との情報交換会の実施】

- ・県内 10 会場：参加企業 495 社 [昨年度比 25 社増 (延べ参加企業数 780 社)]

ODXを推進している企業や各産業分野で主導的な地位にある企業と連携した企業見学・実習を推進

【企業見学・企業で働いている方との意見交換、実習等の実施】

- ・実施校 11 校 (6月以降、各校の指導計画に沿って実施)

大学等地域活性化人材育成推進事業 <学事文書課>

(再掲)

再掲 29 頁

やまぐち若者育成・県内定着促進事業 <政策企画課>

(再掲)

再掲 21 頁

若者県内定着促進事業 <労働政策課>

43,062 千円

【事業内容】

大学生等を対象に、県内企業における就業体験を総合的に推進するとともに、スマートフォン向けアプリやVR映像の活用等により、県内企業の魅力情報を効果的に発信するなど、若者の県内企業等への就職・定着を促進

【取組の現状】

○若者と企業の新たな出会いの場の創出

- ・企業から求職者へアプローチするスカウト型就職面談会の開催
(山口：6月25日、下関：9月27日予定、周南：10月2日予定)
- ・高校生の就職フェアへの参加促進

○就業体験の推進

- ・受入先企業の新規開拓や学生と県内企業とのマッチングを行うコーディネーターを配置
- ・就業体験参加への支援

○県内就職情報の効果的な発信

利用者のニーズに応じた就職情報等を閲覧・利用できるスマートフォン向けアプリ「ぶちエエやまぐち！就職アプリ」の運用及び普及を実施

○県内企業の魅力情報発信

- ・中学生とその保護者向けお仕事体験ワークショップの開催 (会場集合型：8月1日、企業見学会：8月中、11月中予定)
- ・VR企業見学サイト「MIRANAVI (ミラナビ)」による情報発信
- ・オンラインを活用した県内企業の魅力情報発信イベントを開催

県外人材県内就職促進事業 <労働政策課>

35,823 千円

【事業内容】

県外大学との就職支援協定による連携の強化等により、県内就職を促進

【取組の現状】

○県外就職支援協定締結大学との連携強化

- ・大学内で直接学生に県内企業の魅力情報を発信する場「山口デー」を開催
 - ・協定校就職支援担当者と県内企業採用担当者による意見交換会を開催（8月28日オンライン予定）
 - ・保護者を対象とした県内企業講演会や就職ガイダンスを開催（11月30日予定）
 - ・企業の若手社員との交流会及び県内就職への意識を高めるためのセミナーを開催
- 企業との出会いの場の創出・就職支援
- ・県外就職説明会を開催（東京：2月9日予定、大阪：2月15日予定）

高度産業人材確保事業 <産業人材課>

12,301千円

【事業内容】

県内産業の振興に必要な高度専門知識を有する産業人材の確保を図るため、奨学金返還補助制度を実施するとともに、併せて県内就職をサポート

- 理系大学院生又は薬学部生の県内就職サポート（就職ガイダンス・企業見学会等）
- 就業実績に応じた奨学金返還のための補助金交付

【取組の現状】

- 県内製造業や情報サービス業への就職を希望する理系大学院生及び薬学部生を対象とした奨学金返還補助制度の新規対象者募集（定員25名）
- 対象学生への県内企業見学会等を実施予定

【課題及び今後の対応】

- 将来の地域産業を担う人材を育成するため、地域や地元企業と連携した実践的な教育・就業体験等を一層充実させ、実践力、課題を探究する力、コミュニケーション能力等の育成を図るとともに、地域産業や山口県で暮らし働くことの魅力について理解を深めさせることが必要である。また、県内就職比率の向上や高度専門知識を有する産業人材の確保に向けて、地域産業や県内企業の魅力に対する理解を深める取組等、ガイダンスや支援制度の充実とマッチングの促進が一層必要である。
- 新たな時代に活躍できる人材に対応したキャリア教育を大学等において推進することにより、県内企業の認知度を向上させる必要がある。
- 本県の将来を担う意欲ある若者の育成に向け、奨学金返還補助制度の周知をリーフレットやポスターの作成・配布に加え、ホームページや1人1台タブレット端末等を活用した情報発信などを通じてさらに進めていく必要がある。

②若者の職場定着に向けた研修やセミナー・キャリアカウンセリングを推進

山口しごとセンター管理運営事業 <労働政策課>

184,289千円の一部

【事業内容】

山口しごとセンターを中心として、関係機関と連携しながらキャリアカウンセリングやセミナーを核とした、個別相談から情報提供、職業紹介に至るきめ細かなサービスをワンストップで提供することにより、県内就職の支援に加え、県内企業の産業人材の確保を促進

【取組の現状】

- キャリアカウンセリング等を実施（就職後の相談もカウンセラーが個別に対応）
- 就職支援セミナーを実施

【課題及び今後の対応】

○若者の県内定着を促進するため、引き続き、若者に対するきめ細やかなキャリアカウンセリングやセミナー等を実施していく必要がある。

③高校生の主体的な選択による県内大学等への進学を支援するため、高大連携による相互交流など県と大学等との連携強化を推進

新 やまぐち高大パートナーシップ強化事業 <高校教育課> (再掲)

再掲24頁

大学等地域活性化人材育成推進事業 <学事文書課> (再掲)

再掲29頁

【課題及び今後の対応】

- 県内大学の学部・学科等の具体的・実践的な理解を県内のより多くの県立高校等へ広げるため、県内大学等とオンラインで繋がる取組を促進していく必要がある。
- 「大学リーグやまぐち」等を通じ、県内大学等が特色や強みを活かした魅力の向上に連携して取り組むとともに、高校生が県内大学等の魅力や良さに理解を深めるための取組を推進する必要がある。

(3) 教育環境の整備・充実

①児童生徒が安心して学習等に取り組むことができるよう、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応、相談・支援体制の強化、不登校児童生徒の学ぶ機会及び子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組を推進

新 「心の健康観察」導入実証事業 <学校安全・体育課> (再掲)

再掲 17 頁

不登校児童通所指導事業 <こども家庭課> 276 千円

【事業内容】

不登校等の状態にある児童及びその保護者に対し、児童相談所の児童福祉司、児童心理司等及び非常勤の心理士、作業療法士等が、年齢に応じた生活指導、心理療法、作業療法等を実施し、児童の自主性、社会性の向上を支援

【取組の現状】

不登校等の状態にある児童等の通所指導を実施（随時開催予定）

中学校及び高校 0 年生からの教育相談事業 <学校安全・体育課> (再掲)

再掲 22 頁

いじめ・不登校等対策強化事業 <学校安全・体育課> (再掲)

再掲 22 頁

【課題及び今後の対応】

- 近年、児童相談所への不登校相談が少なく、また、通所指導を希望されない親子が多いため、より児童や保護者のニーズに適した支援方法を検討する必要がある。
- 依然として深刻ないじめ・不登校等生徒指導上の諸課題については、その未然防止・早期対応に向けた教職員の資質向上の取組や、不登校児童生徒の学ぶ機会、および、子どもたちの居場所の確保・充実に向けた取組の推進を図る必要がある。

②子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の充実を図るとともに、持続可能な指導・運営体制を構築するため、教員の継続的な確保に向けた取組や学校における働き方改革、部活動の地域移行等を推進

次世代の教育環境デジタル化推進事業 <教育情報化推進室> (再掲)

再掲 26 頁

【事業内容】

教員の長時間勤務の是正を図るため、「統合型校務支援システム」の導入による校務の効率化の推進とともに、ＩＣカード等による勤務時間管理や留守番電話の運用等により勤務体制等を改善

【取組の現状】

- 統合型校務支援システムの全県立学校での運用
- 統合型校務支援システムの全市町立小・中学校での共同利用を支援
- 全県立学校にＩＣカード等、留守番電話、緊急用携帯電話を整備し、運用中

やまぐち部活動改革推進事業

＜スポーツ推進課、文化振興課、義務教育課、学校安全・体育課＞

95,846 千円

【事業内容】

少子化の中でも将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるよう、公立中学校における休日の部活動の地域連携や地域移行に向けた部活動改革を推進

- やまぐち部活動改革推進協議会の開催、生徒、保護者等関係者に対する趣旨の周知
- 希望する市町における国の実証事業を実施
- 指導者等の情報を登録・提供する人材バンクの運営・管理
- 地域スポーツ、地域文化芸術指導者研修会の開催
- 教員等に代わり部活動の指導などを行う部活動指導員の配置

【取組の現状】

- 国のガイドラインを踏まえた県方針を、令和5年10月に策定し、令和6年7月に「やまぐち部活動改革推進協議会」を開催。実証事業の事例紹介や、今後の取組の方向性に関する意見聴取を実施
- 市町においては、体制整備に向けた協議会等の開催や地域の実情を把握するため、生徒、保護者、学校関係者、スポーツ・文化芸術団体へアンケート調査等の取組を実施
- 地域のスポーツ・文化芸術活動の体制の整備に向け、国事業を活用し、県内9市において、関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備等に関する実証事業を実施
- 指導者や受け皿団体、スポーツ・文化施設など県内のスポーツ・文化情報を一元化して提供できる広域人材バンク及びポータルサイト（やまぐち部活動改革応援バンク～スポーツ・文化つなぐNAVI～）の運営・管理
- 地域の指導者、またそれを希望する関係者に対し、部活動の地域移行に係る指導の在り方、活動の運営等に関する研修会の実施に向けて、会場及び講師について調整
- 部活動の指導体制の充実を図るため、教員等に代わり部活動の指導などを行う部活動指導員を11市町40校90名（市町立中学校）、2校2名（県立中等教育学校及び県立中学校）配置

人づくりを支える教師確保推進事業 <教職員課>

(再掲)

再掲33頁

【事業内容】

教員の長時間勤務を是正し、学校の指導・運営体制のさらなる充実を図るため、教員の事務的業務を補助する「教員業務支援員」を配置する市町への支援及び県立学校への配置

【取組の現状】

教員業務支援員を18市町135校（小学校79校、中学校56校）、県立学校11校に配置

【課題及び今後の対応】

- 教員のこれまでの働き方を見直し、子どもたちに対してより質の高い教育を行うことができるよう、管理職のリーダーシップのもと、学校における働き方改革を推進する必要がある。
- 統合型校務支援システムによる校種間でのデータ連携の推進等により、一層の校務の効率化を図る必要がある。
- 教員の業務量を、時間外在校等時間の上限時間である、月45時間、年360時間の範囲内となるよう、適切に管理するとともに、令和6年4月に策定した「山口県学校における働き方改革加速化プラン【第3期】」に沿った取組を進めていく必要がある。

③再編整備を踏まえた施設の長寿命化・防災機能の強化による安心・安全な学校づくりを推進

【事業内容】

子どもの命を守り、地域の避難所としても機能する私立学校の施設について、学校法人の実施する耐震化対策を促進し、防災対策を強化

【取組の現状】

私立学校施設の耐震化を促進するために、耐震補強・改築工事等への支援を実施
 （学校の耐震化率 私立中学・高等学校：93.5%、私立幼稚園・認定こども園：93.0%）

県立学校施設整備事業（長寿命化、防災機能強化）

【事業内容】

施設の長寿命化をはじめ、非構造部材の耐震対策やバリアフリー化、空調設備の設置等、安心・安全な教育環境の確保に向けた施設整備を実施

【取組の現状】

- 県立学校施設について「長寿命化計画」に基づく改修等を実施
- 県立学校施設の外壁改修等の非構造部材の耐震対策を実施
- 県立高校の家庭科特別教室、音楽室に空調設備を設置
- 市町立学校の耐震化の完了に向け、引き続き積極的な働きかけを実施
 （公立学校の耐震化率 県立学校：100%、市町立小中学校：99.1%、市町立幼稚園：100%）

【事業内容】

「防犯を含む生活安全」「交通安全」「災害安全（防災）」の3領域において、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった学校安全の取組等を実施

【取組の現状】

大学等の専門家と連携した学校防災に係る研修会を実施するとともに、日時等を事前に告げない避難訓練の実施に向けた普及啓発を実施

【課題及び今後の対応】

- 安心・安全な学校づくりに向けて、引き続き、学校等施設の耐震化を推進する必要がある。
- 県立学校施設について、長寿命化計画に基づく予防保全的な維持管理の取組が必要である。
- 教育環境の質の向上に向けて、空調設備のさらなる設置など、必要な施設整備を推進する。